



景観・まちづくりコンダクター育成講座

事業主体	大分県
事業期間	H21～H23(予定)
内容	講座・まちあるき・WS
のべ参加者	2,200名(H22現在)

【講座の趣旨】

景観・まちづくりは、絶対的な答えがなく、常に暗闇をさまよい進んでいくものです。そのような中で、皆が安心して集まれる光のような存在として、各地域の活動を指揮できる人材＝コンダクターの種をまき、これからの地域活動を通して、芽が出て、花開くように、今回の講座では、景観・まちづくりに必要な幅広く・深い知識を様々な分野から学んでいただき、地域へ持ち帰って実践していただく、最初のステップとして、人材を募集し、継続して参加していただいています。講座で学ぶ様々な知識に加え、各分野の最前線で活躍されている方々との”つながり”も築いていただき、これからの各地域での取り組みにうまく導いていただけることも期待しています。座学のみではなく、学んだ知識を体感して確認してもらえるような、まちあるきも同時に開催し、また、今後は、より実践的な力を身につけるべく、コンダクターと地域の方々による、”景観・まちづくりの素づくり”も予定しています。



これまでの講座の実績

H21年度講座(講座7回+フォーラム1回+まちあるき3回)～のべ1,500人の参加

- 第1回 「景観とは何か～それは主観か客観か?～」(東京大学教授 堀 繁)
- 第2回 「景観は新陳代謝する～五感で感じる景観～」
(建築家 青木 茂、ランドスケープデザイナー 団塚 栄喜)
- 第3回 「にぎわい景観の創出～商店街活性化と脱・空き店舗～」(商人 加藤 博)
- 第4回 「景観の向こう側～景観体験・景観づくり～」(東京大学教授 堀 繁)
- 第5回 「美しい日本を次の世代に～滞在体験型観光まちづくりによる地域の魅力創出～」
(梶浦 秀樹)
- 第6回 「建築は街を変えられるか」(建築家 内藤 廣)
- 第7回 「おおいたらしさとは何か～合い言葉は景観～」
(フリーアナウンサー 岩崎 朋美、東京大学教授 堀 繁)
- フォーラム 「景観の居場所～原っぱと遊園地・景観を笑う～」
(建築家 青木 淳、建築史家 五十嵐 太郎)



H22年度講座(講座5回+意見交換会1回+まちあるき2回+講座 1回)～のべ700人の参加

- 第8回 「街で何が起きているのか?」(日本政策投資銀行 参事役 藻谷 浩介)
- 第9回 「景観がくれるもの～居路・色～」(東京大学教授 堀 繁)
- 第9回 「景観コトハジメ～景観から始まる日田物語～」(東京大学教授 堀 繁)
(日田市主催・県共催)
- 番外編 「コンパクトシティへの系譜」(商人 加藤 博)
- 第10回 「向こう100年を見据えて～高松丸亀町商店街に学ぶ～」(商店街振興組合 古川 康造)
- 第11回 「建築からまちを覗く」(建築家 西沢 立衛)
- 第12回 「日本における人間の営為の特長
～自然との関係を私達はどのように築いてきたか～」
(東京大学教授 堀 繁)



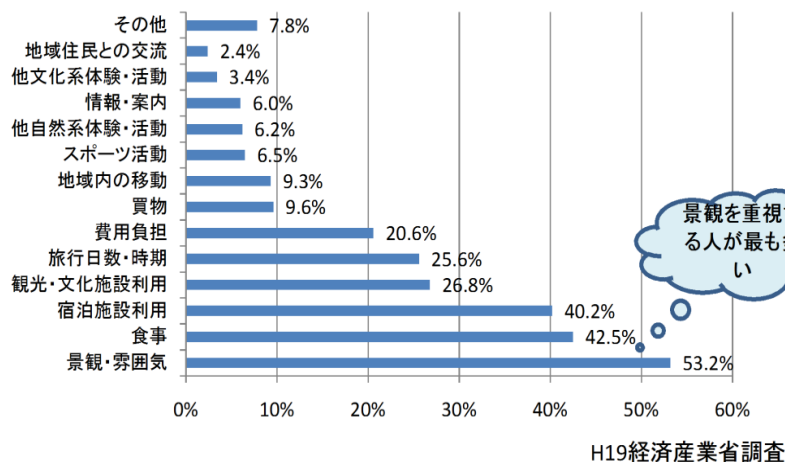


(予定)H23年度講座(講座5回 + まちあるきワークショップ5回)

講師に専属で各地区へ入っていただき、ワークショップ・講評と講座を兼ねた形式を予定しています。講師としては、(堀繁東大教授、建築家の西沢立衛さん、ほか)を予定しています。講師の決定については、新年度の街なみ連絡会にて調整の予定です。

●旅行先を選ぶ際に重視したこと

(~参考~)



講座に加え、研修として、蓑原 敬さん、モンテ カセムさんにもお話をいただきました。講座をきっかけに、大分県に数多くの講師の方々が来県され、よい”縁”ができています。ぜひ皆様も、うまく県の事業を利用いただき、よい縁づくりのキッカケとしていただくことを望みます。
(平成23年3月)

そして平成23年度の
”まちあるき観光列車”へ向けて...

講座に関するお問い合わせ : 大分県 企画振興部 景観自然室 まちづくり推進班
TEL 097-506-2138(直通) FAX 097-506-1730
HP <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10550/>